



# 住宅用火災警報器を設置しましょう！！



住宅用火災警報器が煙や熱を感知して 警報音や音声で火災発生を知らせます。

## 事例1

### 寝たばこから火災発生！



寝たばこにより火災が発生し、警報器が煙を感知しました。警報音で本人が目覚まし、ふとんに水を掛けて消火したので、大事に至りませんでした。

## 事例2

### 天ぷら油が燃え出して！



天ぷら油を加熱したまま、その場を離れたため、鍋から火が上がり警報器がその煙を感知しました。警報音に気付いた居住者が、初期消火と119番通報を行いました。

## 住宅火災の実態

### 「逃げ遅れ」により多くの方が亡くなっています！

住宅火災で死に至った原因



(消防庁調べ:平成18年中/放火自殺者等を除く)

## 事例3

### 仏壇の灯明が燃え移って！



2階居室で就寝していた男性は、1階にある祖母の部屋の警報器の鳴動に気づき、1階におりると仏壇から炎が上がっているのを見、水道水を掛けて消火しました。

## 事例4

### こたつが燃え出して！



入浴準備中、煙と焦げ臭い臭気とともに警報器の鳴動に気づき、居室に行くときたつから炎が上がっていました。すぐに初期消火をしました。

## 設置による効果

### 住宅用火災警報器等の設置により3分の1程度に減少しています！

住宅用火災警報器等の設置の有無でみた住宅火災100件当たりの死者数



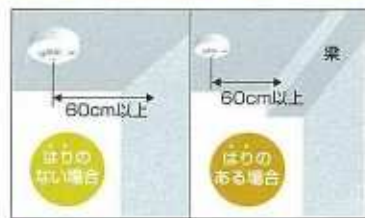
(消防庁調べ:平成18年中/放火自殺者等を除く)

## お取り付け方法 .....



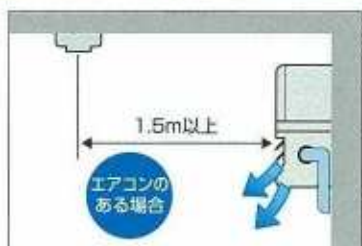
火災警報器は、天井や壁に取り付けることができます。  
詳しくは取扱店へ相談したり、取扱説明書をよく読んで、正しい位置に取り付けましょう。特につぎの点に注意してください。

### 天井に取り付けるときは、ここに注意



#### 注意

火災警報器の中心(感知部)を壁から60cm以上離して取り付けます。天井にはりがある場合には、火災警報器の中心から60cm以上離します。



#### 注意

エアコンや換気扇の吹き出し口付近では、1.5m以上離しましょう。

### 壁に取り付けるときは、ここがポイント



#### 注意

天井から15~50cm以内に火災警報器の中心(感知部)がくるようにします。

## 悪質な訪問販売等にご注意を!

消防署や市区町村が、直接“住宅用火災警報器等”を訪問販売することはありません。また、特定の業者に商品を斡旋したり、販売を依頼することはありません。おかしいと思ったら、はっきり断ってください。

購入でのトラブルは、お住まいの地域の消費生活センター等にご相談ください。

## お手入れ方法 .....



火災警報器はいざというときに効果を発揮するものですが、長く取り付けていれば、家電用品と同じように故障したり、交換が必要になります。実際に火災がおきた時に、きちんと警報されるよう、つぎのようなことに注意してお手入れをすることをおすすめします。

### 火災警報器のお手入れ3つのポイント

#### 1 乾電池タイプは交換を忘れずに。

乾電池タイプの火災警報器は、電池の交換が必要です。定期的な作動点検のときに「電池切れかな?」と思ったら、早めに交換することをおすすめします。また電池が切れそうになったら、音やランプで交換時期を知らせてくれます。

#### 2 おおむね10年をめぐり、機器の交換が必要です。

火災警報器の交換は、機器に交換時期を明記したシールが貼ってあるか「ピー」という音などで交換時期を知らせます。そのめどがおおむね10年です。詳しくは購入時の取り扱い説明書を確認してください。

10年をめぐり  
取り替えが必要



交換時期を明記したシール

#### 3 定期的に作動するか点検しましょう。

定期的(1ヶ月に1度が目安です。)に、火災警報器が鳴るかどうか、テストしてみましょう。また長期に家を留守にしたときにも、火災警報器が正常に動くかテストしましょう。

点検方法は、本体の引きひもを引くものや、ボタンを押して点検できるもの等、機種によって異なりますから、購入時に点検方法を確認しておきましょう。

定期的に点検



住宅用火災警報器に関するご質問は、「住宅用火災警報器相談室」へ、お気軽にご相談ください。

フリーダイヤル  
**0120-565-911**

受付時間: 月曜から金曜までの午前9時から午後5時(12時から1時を除く)

